



ちゅうりっぷだより

2026年2月1日 発行 ひらお保育園

「新年を祝う会」ではちょっぴりこわがりながらも獅子舞に頭を噛んでもらい、一年の無病息災を願ってスタートした2026年でしたが、あっという間に一カ月が経ち暦の上では立春を迎える時期となりました。寒さに負けず、バケツに張った氷を触ったり、霜柱を見つけてスコップで発掘作業を行ったりと冬ならではの遊びを楽しんでいた子どもたち、他にも色々なお楽しみがありました…

カルタあそび

12月頃から遊び始めたカルタあそび、初めは保育者が読んで絵札を取っていました。その中で「下の手の人がもらえるんだよ」「じゃんけんで決めよ」なんてルールを覚えていったのですが…

今では子どもたちが「読みたい！」と読み手になり、絵を見ながら「りんごおいしいな！」「やさしいやぎさんめーめーめー」「ねこはやねのうえでねんね」なんて、オリジナルの文章を考えて読み、それを聞いてみんなも取っていくという、新たな楽しさが広がっています。

幼児交流

12月には幼児さんたちと手をつなぎ、一緒にお散歩に行き交流を図ってきました。1月には、つきぐみ・ほしぐみそれぞれのお部屋へ遊びに行きました。幼児さんに続いて順番に自己紹介をした後は、目新しいおもちゃに目をキラキラさせたり、一緒におままごとをしたり、帰りは手をつなぎで送ってもらったりして交流を深めました。

2月にも引き続き交流の機会を設け、進級に向け、一緒に遊びながら環境に慣れていけるといいなと考えています。

鬼のお面づくり

顔の台紙に、目や鼻、口はどこかなと考えながら糊を付けて貼っていきました。「黄色い鬼にする～」と色を決めると「目、どこ？」とお友だちの顔を見たり、お友だちの貼っているのを見て自分の貼った位置を調整したり、糊がちゃんと付いていない所へ付け足したりする姿に成長を感じました。また、出来上がった鬼と同じ表情をしようとする姿が可愛くてたまりませんでした。

節分ではお面をかぶって鬼退治、さてどんな姿を見せてくれるでしょうか？

おやつを食べた後には、帰りの支度をするようになり、「汚れ物袋が先？」「コップ最後だよ、割れないように」と確認しながら入れていく子どもたち、自分の事は自分でするのだ、自分で出来る！と張り切っています。徐々にエプロンを外すと「もう無いよね！こぼさないから？」「お兄さんだからだよ」「おにいさん・おねえさん」という言葉が背中を押してくれているようです。

ちょっぴり背伸びする時間を過ごしなが、進級に向けて心と体の準備を進めていけるといいなと考えています。



2月の予定

- 3日（火）節分の豆まき
- 5日（木）避難訓練
- 6日（金）身体測定

3月4日（水）16:30～

クラス懇談会

ちゅうりっぷ組最後の懇談会です。
是非ご参加ください。